

4 近年のコンビニエンスストア(以下コンビニ)の業界について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の表は、日本のコンビニ業界の会社の店舗数についてまとめたものです。あとの①・②の問いに答えなさい。

		A社	B社	C社
国内店舗数		19,588	17,921	13,111
海外 店 舗 数	アメリカ合衆国	8,454	0	2
	メキシコ	1,868	0	0
	台湾	5,161	3,122	0
	タイ	10,007	1,135	85
	中華人民共和国(中国)	2,377	2,071	1,003
	大韓民国(韓国)	8,943	0	0
	ベトナム	3	141	0
	インドネシア	0	76	36
	フィリピン	2,087	69	30
	マレーシア	2,186	21	0
	シンガポール	416	0	0
	オーストラリア	660	0	0
	デンマーク	183	0	0
	その他	1,002	0	0
合計		43,347	6,635	1,156
店舗数合計		62,935	24,556	14,267

各社ホームページにより作成
A社は2017年6月末、B社は2017年8月末、C社は2017年2月末現在

① 表から読みとることができることとして**不適当なもの**を次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア A社は、海外店舗の多い3カ国で、A社の海外店舗数の6割以上をしめている。
- イ B社は、欧米よりもアジアを中心に進出している。
- ウ 各社の国内と海外の合計店舗数のうち、国内店舗数の割合が最も高いのはC社である。
- エ A社、B社、C社すべてが進出しているのは、タイ、中華人民共和国(中国)、フィリピンの3カ国である。
- オ いずれの国・地域においても、A社の店舗数が最も多い。

- ② コンビニ業界の各社が進出をしている国は、貿易でも日本と強く結びついています。次の表は、日本の輸出額上位5つの国・地域とその輸出額・割合を表しています。表中のYにあてはまる国をあとから1つ選び、記号で答えなさい。

	輸出額	割合
アメリカ合衆国	151,135	19.3
X	148,897	19.0
Y	59,752	7.6
(台湾)	45,578	5.8
(香港)	39,741	5.1
その他	337,762	43.2
合計	782,865	100.0

輸出額の単位は億円、割合の単位は% 統計年次は2017年
(2018年版「日本国勢国会」より)

- ア タイ イ 中華人民共和国(中国) ウ 大韓民国(韓国)
エ シンガポール オ オーストラリア

- (2) コンビニは、どの店で、何が、いつ、どんな人に売れたのかという情報を集め、本部のデータセンターに送り、販売データとして集計しています。このシステムを何といいますか、答えなさい。
(3) コンビニでは多くのおにぎりや弁当が売られています。次の①・②の問いに答えなさい。

- ① おにぎりは、うめ、こんぶ、のりなどの国産の食材も使われています。のりの養殖が盛んな都道府県の組み合わせとして最も適当なものを、次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 北海道・青森県・宮城県 イ 和歌山県・群馬県・神奈川県
ウ 岩手県・宮城県・徳島県 エ 佐賀県・兵庫県・福岡県

- ② 近年、コンビニやファストフード店などで利用される鶏肉調整品(唐揚げ、焼き鳥、フライドチキンなどをいう)の輸入量は増加傾向にあります。次のグラフは、鶏肉調整品の国別輸入量・単価の推移を表しています。このグラフを参考にしながら、鶏肉調整品の輸入についての i ~ iii の意見が正しいか誤っているかを判断し、その正誤の組み合わせとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

鶏肉調整品の国別輸入量・単価の推移

